

令和3年度 第2回松山地域協議会会議録

日 時 令和3年7月1日(木) 13時30分～15時40分

場 所 松山農村環境改善センター

出席委員 14名

齋藤 明	小林 正利	阿部 喜久子	清野 淳
富樫 とも子	荘司 東一	加藤 恭子	齊藤 薫
平向 邦夫	三浦 由美	榎本 和介	佐藤 正勝
齋藤 紀代	須田 良		

欠席委員 1名 佐藤 徳康

酒田市出席者

松山総合支所長	出嶋 亨
松山総合支所 支所長補佐	丸藤 真也
松山総合支所 支所長補佐兼建設係長	堀 伸一
松山総合支所 地域振興主査	齋藤 圭
松山総合支所 地域振興係長	阿彦 求
まちづくり推進課 課長	長尾 和浩
まちづくり推進課 課長補佐	松永 隆
まちづくり推進課 地域づくり主査	池田 一穂
まちづくり推進課 主事	讃岐 祐香

傍聴者 なし

1 開 会

2 会長あいさつ

○平向邦夫会長 あいさつ

3 議事録署名人の指名

○会長が議事録署名人に、三浦由美委員を指名

4 議 事

【報告事項】

(1) 過疎計画について

(まちづくり推進課、長尾課長と松永課長補佐が、資料に基づき説明)

(齊藤薫委員)

新過疎計画案について、ワークショップで出された主な意見・キーワードと比較すると、「歴史、文化、自然」はある程度反映しているようだが、「賑い」や「交通インフラ」、「眺海の森」については、不足している気がする。特に眺海の森では、さんさんの利活用が重要だと思う。

この計画案では、眺海の森の目玉となる事業がないような気がするが、いかがか。

(長尾課長)

これから計画を策定していく中で、さんさんを所管する交流観光課とも相談しながら、検討していきたい。

(齊藤薫委員)

さんさんの利活用は、自治会長アンケートにもある通り、地域の強い要望である。

(榎本和介委員)

「松山スキー場の整備」とあるが、夏スキーのグラス交換も含めてほしい。スキー人口が減っている中、他にも新しい夏スキーの施設ができています。松山スキー場は、グラスを交換しないと誘客が難しい状況だ。

(松永課長補佐)

所管課からは「リフトの改修」という報告が出ている。グラス交換については所管課へ確認する。

(榎本和介委員)

リフト改修だけでスキー客を増やすことは難しい。周辺のスキー場の状況や、夏・冬の誘客など、幅広い観点で検討していただきたい。

(長尾課長)

スキー場という「点」だけでなく、周辺も含めた「面」として、また季節も含め幅広く検討すべき、という意見と受け止めた。この計画は、当初は確実な事業を掲載し、途中で変更して追加することもできるので、所管課と協議していきたい。

(齋藤明委員)

過疎債とは、どの位の金額を使っているのか。

(松永課長補佐)

過疎債とは借入金になるが、返済する際に7割を国が補填してくれる大変有利な仕組みになっている。市町合併後、平成18年度から令和元年度までに過疎債を活用した金額は、松山地区では19億5千万円、八幡地区では4億8千万円、平田地区では6億3千万円となっている。

松山地区は、大部分を小学校整備に活用している。

(齋藤明委員)

過疎債は、建物に使うことが多いのか。

(松永課長補佐)

インフラ整備は金額が大きくなるが、ソフト事業の人材育成や地域活性化にも活用できる。ただ、この計画に盛り込んでおかないと、過疎債が使えない仕組みになっている。

(小林正利委員)

城址館のイベントで、駐車場が遠かったという話をきいた。例えばシャトルバスを出して地域住民を集めたら良いと思うが、その費用は過疎債の対象になるか。また、そのイベントに能や音楽イベントを同時開催しても対象になるか。

(出嶋支所長)

賑わいづくりに過疎債は活用している。過疎債を活用するかどうかは財政課との協議になるが、この計画に掲載しておかないと活用できないので、できるだけ掲載していきたい。

9月の「くらふとフェア」では、確かに少し遠い場所の駐車場もあるが、散策しながら松山の魅力を楽しんでもらうのも良いと思う。このイベントは、実行委員会へ市から負担金を出す形なので、イベントの実施方法は自由に考えられる。その負担金は過疎債の対象になる。

(小林正利委員)

他地域から来る人のため、松山で食事ができる所、休憩できる所を紹介するマップは作成できないか。

(出嶋支所長)

そのようなマップは現在もあり、配布している。また、八幡、平田も含めて「そばマップ」を現在作成中である。

(阿部喜久子委員)

新過疎計画と旧過疎計画は、違う点はどこか。

(長尾課長)

大きくは変わっていないが、「移住・定住」「地域間交流の促進、人材育成」「地域における情報化」「再生可能エネルギーの利用の促進」など、社会背景を受けて新たに項目が追加されている。

(阿部喜久子委員)

大きな予算になるようだが、ぜひ住みやすいまちづくりをお願いしたい。

(清野淳委員)

1点目、もっとお嫁さんにきてほしい。店もなく、遊ぶ場所もなく、魅力を発信しても中山間地に人は来ない。もっと移住・定住しやすいような環境づくりをしてほしい。

2点目、旧酒田から平田アイアイまではるんるんバスがあるが、松山地区と旧酒田を往復する手段がない。デマンドタクシーは、予約に手間がかかるし、お金もかかる。るんるんバスのような形で高齢者が乗りやすい公共交通手段がほしい。

3点目、交通手段がない高齢者のため、遠隔医療ができる仕組みがあると助かる。各家庭にタブレット端末を配布して、それで診療ができればありがたいと思う。

4点目、子どもの遊び場がない。眺海の森の施設を改修して遊興施設、保養施設、温泉施設にできないか。

難しい要望ばかりだと思うが、何らかの形で前に進めてもらいたい。また、資料説明の中で、八幡、松山、平田の記載を一つにまとめる話があったが、各地域の特色を出した要求をした方が、過疎債が活きると思う。

(松永課長補佐)

1点目、移住・定住について、中古物件のリフォーム補助などは取り組んでいる。新しい考え方として、中山間地では一つの仕事では生活が成り立たない状況があるが、例えば午前は介護、午後は森林業務などのように複数の業務をする「多様な働き方」が国でも検討されている。このような人材を地域で受け入れれば、移住・定住につながる可能性もある。

2点目、デマンドタクシー導入の際、地域に説明しているが、バスはコストの問題があり、デマンドタクシーは市の方針として進めている。使い方については、分かりやすい動画もあるので、周知を図っていきたい。

3点目、医療・福祉のデジタル化は、進めていかなければならない課題である。計画に事業名はないが、現在、所管課で検討を進めている。

4点目、眺海の森は、松山地区の大きな資源であるので、活用について検討していきたい。また、3地域の説明については、旧計画を見ると分かる通り、全く同じ表現が3回繰り返されているケースがあるので、それをまとめる。各地域の特色については、それぞれ記載する。

(清野淳委員)

1点目は、移住・定住で人を集めることだけではなく、結婚もして人を集めたい、若い人に来てもらいたいという趣旨だった。婚活のこともまちづくりに入れて考えてもらいたい。

(長尾課長)

市や県には結婚サポーター制度あり、取り組みはしているが、婚活はなかなか難しい面がある。直接婚活に繋がるか分からないが、若い人が何か面白いことをしている地域には、人が集まるこ

とがあるかも知れない。この計画策定に当たっては、地域の魅力づくりや地域活性化を合わせて取り組んでいきたい。

(富樫とも子委員)

スキーは滑るだけではない。休憩場所や子供が遊べる場所もほしいので、リフト改修だけではなく、さんさんの活用は必要だ。昔、眺海の森にアスレチックがあったが、今は使えない。最近では、コロナの影響でキャンプ場が賑わっている。お金はそれ程かからないと思うので、子供が遊べる環境づくりを考えてほしい。

(出嶋支所長)

眺海の森の屋外施設となると、雪で4か月間使えないという課題がある。確かに最近はコロナの影響でキャンプ場は人が来ているが、以前は、昼間にさんさんへ行っても、地元の人ほとんど来ない状況だった。地元の人が率先して利用するなど、もう少し地元の協力があればありがたいと感じた。

(富樫とも子委員)

さんさんは、食事がおいしくなかったもので、地元の人も行かなくなった。

(荘司東一委員)

内郷地区の人口は、この10年で約350人も減少している。世帯数はそれほど減少して少なく、若い世代が他の地域へ転出し、全体的に高齢化状態になっている。松山地域の4地区で同じような状況と思われるので、これ以上極端に人口減少が進む地区が出ないような均衡のとれた行政施策をお願いしたい。

松山の宝事業で交流人口は増えているようだが、マップの表記が松嶺地区だけになっている。市の事業は、内郷地区も含めた松山地区全体の一体的な取り組みをお願いしたい。

里仁館は、関係者の努力もあり20周年を迎え、庄内地域の多くの人に愛されている。現在は、経営母体が任意団体だが、今後の更なる事業展開のために法人化した方がいいと考える。自分からも提案していくが、行政からも支援をお願いしたい。

生涯スポーツについて、松山地区にはみなスポ松山がある。スポーツ庁では、総合型地域スポーツクラブの認証見直しの動きがあるらしいが、みなスポ松山は認証されるのか。松山地区には体育振興会組織もないので、地区全体の組織の見直しが必要ではないか。

(長尾課長)

人口減少については、減少を緩やかにするように、過疎計画の中で魅力ある地域づくりに取り組んでいきたい。ただ、この事業をすれば人口が増えるというような特効薬はない。

(出嶋支所長)

松山の宝マップは、城跡や神社、石碑などがあるので、確かに松嶺地区が中心になっている面

はある。これは物だけではなく、景色などでもよいので、内郷地区の宝の情報についても教えていただければありがたい。ふれあい支援農道周辺の景色は素晴らしいと思うし、そば組合もあるし、内郷地区にもさまざまな資源があるのでアピールしていきたい。

(長尾課長)

里仁館の法人化、みなスポ松山については、所管課と協議していきたい。

(加藤恭子委員)

グラウンドゴルフ場の草刈りを月2回はしているようだが、草が伸びて大変だ。草刈りの回数を増やせないか。松山体育館の耐震改修工事をするようだが、時期はいつ頃か。冬に体育館が使えなくなるのが心配だ。

(出嶋支所長)

グラウンドゴルフ場の草刈りは、地元団体をお願いしている。大きな大会前には対応をお願いしているが、草刈り回数を増やすのはなかなか難しい。

(長尾課長)

耐震改修工事は、松山体育館と八幡体育館が予定されていて、先に八幡体育館に取り掛かるようだ。

(齊藤薫委員)

昔、松山体育館のフロアを抜いてはどうかという話があった。平田体育館のように、土にすれば野球なども冬にできる。その検討を要望したい。

(長尾課長)

そのような要望があったことを所管課に伝える。

(松永課長補佐)

過去にそのような検討をしたと聞いたことがある。検討の結果について、確認してみたい。

(平向邦夫会長)

市への要望については、自治会連合会やコミュニティ振興会でも取りまとめをしている。

(三浦由美委員)

子供が減っていて、将来、松山小学校と南平田小学校の統合の話をする人もいる。松山地区から学校を無くさないでほしいので、婚活にも力を入れて、若者が住みやすいまちづくりをお願いしたい。お金はかかるが、私たちの住む松山は、いい所だと感じるようにしていきたい。

(長尾課長)

松山小学校は新しい学校なので統合はあり得ないが、将来に渡って考えると可能性はゼロではない。そうならないように過疎計画を策定して有利な財源を活用しながら、松山地域を整備していきたい。

(平向邦夫会長)

市広報に人口が掲載されているが、今年4月から3か月で、569人も減少している。

(榎本和介委員)

酒田市では、この松山地区をどうしたいか、大きなビジョンが見えない。人口がどんどん減るのは、地域の将来の姿が見えないからではないか。

(松永課長補佐)

過疎計画の基本方針の部分で、地域の特色を生かしながら地域づくりをどのように進めていくか、総合支所とも相談しながら表現していきたい。

人口減少は全国共通の問題で、高齢者が亡くなる自然減は仕方がないが、地域から人が出ていく社会減は少なくしていきたい。

(榎本和介委員)

旧過疎計画の整備方針をみると、八幡も松山も平田も似通ったものになっている。もっと地域の良さを出してほしい。酒田市が松山地区をどう思っているのか分かるように表現してほしい。

(長尾課長)

「市が松山地区をどう考えているか」という話があったが、我々としては「地域の方が松山地区をどう考えているか」を知るためにワークショップやアンケートを行った。資料にある通り、皆さんの生の声を十分にいただいたので、キーワードとして計画に取り入れていきたい。

(佐藤正勝委員)

眺海の森から見える森林、田んぼは松山の資産だと思う。近年農家が減ってきており、数年後には、この景観が損なわれるのではないかと感じている。

これまでの話で施設修繕などの話はあったが、農家を取り込んだ地域振興の話は一つもないと思う。資料に農業基盤整備、農道整備とあるが、方向性や場所について伺いたい。地域では限界集落の話も出る。内郷地区では農家の減少をいかにくい止めるかが大事だと思う。

(松永課長補佐)

農家の減少などのソフト面については、過疎計画に記載がないので、所管課に確認したい。基盤整備の内容として、地域別には出てきていないので、今は場所まで分からない。松山地区では、この場所の整備が必要だという意見があれば後で確認したい。

(齋藤紀代委員)

地域おこし協力隊の活動支援とは、目的があって地域へ来た隊員の支援ということか。

体育館について、旧松山中学校体育館は電気が来ていない。里仁館体育館は貸し出ししているようだが、松山体育館は工事が始まる。南部コミセンの体育館は雨漏りがある。それらの対策はできないか。また、コミセンの助成は、4コミ振が一律なのか、活動日に応じてなのか。

(長尾課長)

南部の地域おこし協力隊員は、残念ながら途中退任されたが、これは、外部の方から地域にきてもらい、地域資源を生かして何か形にしてもらい、地域活性化につなげるもの。まちづくり推進課と総合支所がその活動を支援している。

コミ振の支援については、ひとづくり・まちづくり総合交付金を交付している。人口規模だけでなく、活動内容などさまざまな要素を考慮して計算しており、コミ振の裁量で自由に使える交付金になっている。合わせてコミセンの建物の管理委託もあり、この2種類を支払っている。

(松永課長補佐)

旧松山中学校体育館は、断層帯にあるので使えないときいたが、詳細は所管課に確認したい。

(須田良委員)

松山地区の特産品として麩があるが、麩を使った食事ができる施設があるといいと思う。

松山体育館の床を抜く話があったが、自分の息子が野球をしていて、冬に光ヶ丘の屋内練習場まで通うのがとても大変だった。冬でもスポーツができるので、可能ならお願いしたい。

(出嶋支所長)

松山には農産物加工所があり、梅を使った特産品を作っている。もしも、麩を使った特産品を作ってくれる方がいれば、イベントで出すとか、どこかの店とタイアップするとか、いろいろ考えられると思う。

(長尾課長)

体育館は、現状の利用者の使い方や床を抜いた場合の利用見込みなど、幅広い検討が必要だと思うので、所管課と相談してみたい。

(平向邦夫会長)

過疎計画は酒田市が予算を獲得するために策定するものだと思うが、いかに松山に予算を持ってくるかが、この地域協議会の役割だと思う。

人口減少を抑えるためには、企業誘致が何より大事だと思う。市長からは一級の営業マンになってもらって、企業誘致を頑張っていただきたい。

5 閉 会

(出嶋支所長)

次回の地域協議会は8月2日開催となるが、これまでの意見を取りまとめ、計画の原案を示したい。本日言いそびれたことや、後で思いついたことがあれば、書面で提出していただきたい。

以 上